

青梅市立霞台中学校（2年目）

【校長】 神野 孝彦 【生徒数】 323名 【学級数】 9学級・知的固定8学級



次の取組へ

【課題・改善】

- 1 体育健康教育の取組により、筋力、柔軟性、持久力が全国平均を上回った。
- 2 特別授業により、生徒は積極的に運動にかかわり、今後も運動しようという意欲につながった。
- 3 支えるスポーツについて、スポーツに関する多様な関わりを意識することができ、引き続き取り組む必要がある。
- 4 知るスポーツについて、ICT 機器等を活用し、様々な視点からテーマを変え、取り組んでいく。

【実態・課題】

- ・令和6年度の全校生徒の体力合計点は41.6点であり全国平均（46.2点）より低い。
- ・体力合計点は昨年度42.8点、今年度41.6点であり、体力の低下がみられたものの、2学年、3学年は全国平均より高い項目も見られる。
- ・「保健体育の授業は楽しい」77.3%、「運動やスポーツをすることは好き」76.6%という生徒の割合が高く、運動に積極的に関わろうとしている。
⇒全国平均に比べ体力合計点は低いものの、多くの生徒は運動・スポーツに積極的な生徒が多い。

目標 運動との多様な関わり方を通した

① 全般的な運動能力の向上 ② 体力が低い生徒の体力の向上

【成果】

- 1 昨年度と比較し、全国平均より大きく向上した種目は、2年生（男女）は上体起こし、3年生（男女）は上体起こし、長座体前屈であった。また、2年生男子は長座体前屈、3年生男子は持久走の記録（数値）向上は顕著であった。
- 2 アスリートの指導により、モチベーションが高まる生徒が増え、運動に関わろうとする態度が見られた。
- 3 運動会や青梅マラソンでは多くの生徒が運営に関わり、「支えるスポーツ」について知ることができた。
- 4 ICT 機器等を活用した調べ学習を通して、スポーツの多様性を知ることができた。身体の仕組みや、オリンピックに関わる知識を深めることができ、今後も運動やスポーツに関わる生徒が多くなった。

【取組】

- 〈テーマ〉
「する」「みる」「支える」「知る」の視点に立った取組を実施し、課題の解決を図る。
- 1 「するスポーツ」⇒運動機会の提供
(1) 生徒の運動能力を高める体育授業の工夫
(2) ポスターを作成、掲示し、昼休みの運動を奨励
 - 2 「みるスポーツ」⇒プロ・アスリートスポーツに触れ、スポーツマインドを向上する
(1) アスリートを招聘し特別授業を行う。
 - 3 「支えるスポーツ」⇒スポーツ大会の運営を体験し、多様なスポーツの関わり方を知る
(1) 運動会、球技大会を生徒が主体となって運営
(2) 青梅マラソン（2月）に生徒希望者を募り、ボランティアスタッフとして参加
 - 4 「知るスポーツ」⇒効果的・効率的な運動の方法を知る
(1) 保健の授業などで調べ学習。
テーマ「身体の仕組み」、「古代のスポーツ」、「近代のスポーツ」、「オリンピックに関すること」

【取組】（詳細）

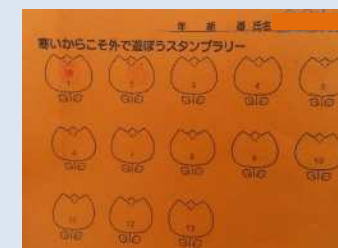
1 「するスポーツ」：運動機会の提供

- (1) 生徒の運動能力を高められるような体育授業
筋力を向上する自重による筋力トレーニング、柔軟性を向上するストレッチ、瞬発力を向上するスキップ走、全力走を積極的に授業で取り組んだ。



(2) 生徒が主体的に運動する機会の確保

体育委員会の生徒が中心となり、意識啓発ポスターの作成と掲示を行い、体育健康教育に関する取組の周知を行った。また、朝礼や給食時の放送を活用し、昼休みの校庭開放への参加を呼びかけた。昼休みの校庭開放では人数計測をしてクラスで表彰を行った。生徒のアイディアでスタンプラリーを行い、運動参加に積極的だったクラスを表彰し、積極的に運動に参加する生徒が増えた。



2 「みるスポーツ」：プロ・アスリートスポーツに触れ、スポーツマインドを向上する

(1) アスリートによる特別授業

令和7年10月24日（金）パラテコンドー 原田 涼平 選手
（全日本選手権優勝、大会最優秀賞）

令和8年 1月21日（火）22日（水）中島 理絵 先生 ダンス
（ダンスサークル NFP FD 代表）

(2) デフリンピックバスケットボールの観戦

令和7年11月21日（金）東京2025デフリンピック

3 「支えるスポーツ」スポーツ大会の運営を体験し、多様なスポーツの関わり方を知る

(1) 運動会、球技大会を生徒が主体となって運営

(2) 青梅マラソンにボランティアスタッフとして参加

令和7年2月16日（日）

令和8年2月15日（日）

4 「知るスポーツ」効果的・効率的な運動の方法を知る

(1) ICTを活用した調べ学習

テーマ「身体の仕組み」、「古代のスポーツ」、「近代のスポーツ」、「オリンピックに関すること」